

# みんなの明倫 新聞 Vol.02

2015年(平成27年)1月23日 金曜日



## 明倫地区の「こうなったらいいな」を共有！

第2回「みんなの明倫会議」では、地域の「こうなったらいいな」という姿をイメージし、その将来像を「未来新聞」にまとめました。ワークショップは白熱し、気がつけば、いつの間にか全員が立ち上がって新聞づくり。今後の取り組みの基礎となる「ビジョン」を共有した2時間半でした。

### 第2回 みんなの明倫会議 開催概要

#### 日時

2014年12月21日(月) 18:30~21:00

#### 会場

明倫公民館

#### 参加者数

36名



#### プログラム

- 18:30 開会、あいさつ
- 18:35 カタルタ自己紹介
- 18:50 前回のふりかえり
- 19:00 座学  
「まちを元気にする取り組みを  
実現するには」
- 19:30 ワークショップ  
「明倫地区の未来新聞をつくろう」
- 20:45 全体共有
- 21:00 講評

#### 開会あいさつ

第1回では、多彩なご意見をいただき、みなさんの熱い気持ちを感じました。今日は、前回よりもっと進んだ意見が出てくると思います。こうした声をこれからの明倫地区のまちづくりにつなげていくには、テーブルの議論だけでは成り立ちませんし、大変な作業になるでしょう。周囲のみなさんの協力も得ながら、取り組みを実現していきたいですね。



(倉吉市自治公民館連合会 岡野 勝義 会長)

### ワークショップの前に カタルタ自己紹介 にチャレンジ！

ワークショップをはじめる前に、様々な接続詞や副詞が書かれたカード「カタルタ」を使った自己紹介にチャレンジしました。カードを1枚ずつ引き、そこに書かれた単語を使って、自己紹介をしていきます。みなさん、脈絡なく繰り出される言葉を使い、思わず「うまい！」とうなる自己紹介を披露してくださいました。



### ワークショップの後に おいしい懇親会 開催しました！

第2回みんなの明倫会議が開催されたのは、2014年も残り10日に迫った年の瀬。ということで、ワークショップ後に忘年会も兼ねた懇親会を開催しました。参加者のみなさんの持ち寄り品をはじめ、おいしいご飯を囲みながら、わいわいと話が弾みました。

おいしい持ち寄り品がそろいました(一部をご紹介します)





# 「まちを元気にする 取り組みを実現するには」

ビジョンを共有し、継続的な活動につなげている各地の取り組みをご紹介します。

## 醍醐孝典 (studio-L)

全国各地を飛び回り、コミュニティデザインのプロジェクトに関わる。この日は、宮崎県延岡市から8時間の大移動の後、倉吉にお邪魔しました。



## 事例1 東京都墨田区

区による先進的な食育の取り組みやテーマ型コミュニティの活発な活動が特徴的な墨田区。さらなる展開へとつなげるため、地域の幅広い世代と「墨田食育計画」をつくるとともに、実践ツールとしての「食育ワークショップカード」作成や「食育推進リーダー育成講座」の実施等を通じ、地域の食育活動を後押ししています。

## 事例2 群馬県富岡市

富岡市では、2014年に「富岡製糸場」がユネスコ世界文化遺産に登録される前から、登録後の一時的なブームで街の環境や暮らしにダメージを与えないため、長期的な視点に立った生活者主体のまちづくりを進めてきました。富岡の街全体を好きになってもらうため、「笑顔いきあうまち富岡」を合言葉に、来訪者とともに市民自身が笑顔で楽しめるプログラムを実施中です。

## みんなでビジョンを共有する

地域を元気にする取り組みを始める上で、ビジョン(将来像)を共有するということがとても重要です。ビジョンとは、何をゴールにするのか、どんな地域を目指すのかという見通しです。前回ご紹介した海士町の取り組みや、今回の墨田区、富岡市の事例でも、ワークショッ

プを通じて最初に地域のみなさんとビジョンを共有しました。その後は、チームをつくり、社会実験を実施したり、計画をつくったり、地域によって様々な進め方で、継続的な活動につなげています。明倫地区も、ビジョンを達成するために、一番いい進め方を考えていきたいですね。

## ワークショップ

# 「明倫地区の未来新聞をつくろう」

「明倫地区がこうなったらいいな」という未来のイメージを書き出し、新聞形式でまとめました。5チームによる個性豊かな「未来新聞」の「記事」の一部をご紹介します。



## 日本地域創生新聞

### 明倫地区住みやすさ日本一

審査委員からのコメント  
私も住みたい!

■交通・公園・病院施設も充実  
スポーツが盛ん / 路地裏を散策したくなる街 / 病気で困らない / 歩いて買いものができる

■資源の充実度 No.1  
円形校舎周辺がにぎわっている  
めいりん祭がスケール up

■新発見  
アートに出会う / 御利益、パワースポット、グッズ

■外部人材の歓迎度 No.1  
多種多様な職人がいる

## 明るい楽しさ最大評価

■飲食店が充実  
夜でも入れる気の利いた店がある

■空き家有効利用  
空き家を改装してイベントができる

## 環境面でも大きな評価

花がいっぱい咲いている / ごみがない  
交通事故が少ない / 交通の便が良い

## 本当はこんな街でした

### 安心して楽しく暮らせる小さなまち日本一

安心して暮らせる / 車なしでも楽しく生活できる

■歩きたくない隠れスポット  
休みの日に子どもと一緒に歩いて出かける場所がある / デコポコの路地が整備されずに残っている

■古い 新しい おせ 若い  
古くて新しい町 / 年寄りが若い人と気軽にお話できる街

## ■新しい 面白いお店ぞくぞく

スーパーばかりでなく個人商店がたくさんできている / 土手や市街地にサイクルロード

## ■リピーター増えてます

観光客が集まり交流する / 若い人がまた来たい(まち)

## みんなお友達

「〇〇ができる人を探している」とつぶやいたら、すぐに誰かを紹介してくれる

## ぬいだらすごいんです

## まずは明倫ネクスト 10

■大人も子どもあいさつの声が聞こえるまち!  
町中、朝夕あいさつの声が聞こえる町 / 若い人たちが活発に活動ができたらいいな!

■おいしいまち!! ~パン屋から鯉料理まで~  
おいしいパン屋が欲しい / 鯉料理 / 水をつかった土産 / 地域の女性部による飲食店の開業

## ■温故知新

FMをつくる / ものづくり教室ができる  
明倫市民役で映画をつくる / フリーマーケットが毎月ある町 / 円形校舎でアート祭 / 八橋往來を日本へ発信する

## めいりん 48 誕生!!

## ■まちの自慢

里山の資源を活かす / 今の自然がそのまま残った  
いいな / 生活防災から地域の連携が深まれば

## ■生業の創生!

「たまり場」を各地区の拠点につくり、運営する  
スタッフを雇用 / リヤカー市をもっと多くする  
スタッフ、ボランティアを募集

## メイリーン Times

■新たな魅力ぞくぞく!!  
ゆるキャラ「メイリーン」が登場!! / 「明倫といえば」〇〇だよネと言われる

■世代別に夢を語る!!  
●子ども  
子どもが「ここで育ってよかった」と思える / 子育てがしやすい街

●若者  
若者が集まれる楽しい場所!! / 仕事がある / 若者が夢を持って生活できる

●高齢者  
いつまでも元気でいるよう健康づくりに励む / 多くの人々が多くの分野で学習する(生涯学習)

## ■keyword ヒト

お父さんたちが集まって話せる場所、機会 / お母さんたちが気軽に集まってお茶ができる(託児つき!!) / 外国人が多くなりそれぞれの文化の花が咲く

## ■リサイクル by AKIYA

現存するお店と新規のお店をシェアする / 子どもと高齢者のシェアスペース

## ■Let's enjoy 明倫

鍛冶屋の道具、機械を保存し将来活用する / プロダクトデザインができる人と新商品開発(冷えとり、子供服等)

## ■みんなにやさしい街

初めて来た人でも歩きやすい、分かりやすいまち、道 / 夜も明るい道のまち

## めいりん闊歩(かっぱ)

## ■~こどもの笑顔がいっぱい~

世代に関係なく楽しめるまち / 他地区からの移住で人口増加 / 若者が返ってきたくなる町になる / 子どもの笑い声がいっぱい聞こえる

## ■空き家に来ないや

だれでも集まれる場所がある(障がい者、高齢者) / 空き家に地区外または市外、見学の人が居住している

## ■祭の参加が増える

地域の祭の出席率が上がる / 子どもから大人まで楽しめるイベント

## 「明倫の歴史」発売

歴史を学べる / 伝統的なものが魅力を増していく(観光や見学をする価値がある)  
歴史的ランドマークをまわるスタンプラリー

## メイリーンバカ売れ!

ミツバチプロジェクト、IJU カフェなど独自の取り組みが有名になっている

## 【求人】 商店

個性溢れるお店が増える / 地域の資源を生かした美味しい飲食店が増える

## 講評 (studio-L 醍醐さん)

住みやすさや古いものと新しいもの、若者とベテランの役割分担、自然環境の良さや面白い人材、空き家を活かす、お店や食、祭の魅力を増やす、定住促進といったキーワードが共

通してあがっていました。今は、おもしろいことやもの、仕事を自分でつくりだすことのできる時代です。明倫地区の強みである学区単位の公民館やNPOといった現存の組織が、今日話し合った将来像の実現をどう支えていくか、これから考えていきたいですね。

## 参加者のみなさんの感想(アンケートより抜粋)

若い方々の新しい参画が見られ、これからが楽しみです。じっくり、みんなで考えましょう。/ ビジョンの方向、重要性を感じました。/ みんなで動けば、何でもできそうな気がした。